



審判(副)委員長



戦評用紙

種別 **バレーボール (精神)** 会場 **小浜市民体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **13** 日 土曜日 第 **1** 日目

特設Aコート 第 **3** 試合

1回戦(第3試合) 準決勝(第 試合) 3位決定戦 決勝戦 交流戦(第 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム		25	—	23	}	0	名古屋市	
埼玉県	2	25	—	12				都道府県、指定都市名
都道府県、指定都市名			—					都道府県、指定都市名

【審判員】
 主 審： 杉下 真文(福井県) 副 審： 辻 弘文(福井県)
 記録員： 内藤 和志(福井県) A・S： 東山 裕紀(福井県)

【戦 評】 記載者： 東 條 悟

第1セットは、埼玉県2番藤田のサーブから4連続ブレイクのスタート。その後もセッターのトス回しが冴える埼玉県がリードを広げて7点差とする。しかし、名古屋市6番黒野がスパイクにブロックと大車輪の活躍を見せ、中盤で逆転に成功する。互いのチームのエースが奮起し、サイドアウトの応酬となった終盤、最後は丁寧にボールをつなぎきつた埼玉県が第1セットを先取した。

勢いに乗る埼玉県が、第2セットも強気のサーブで攻める。中盤では埼玉県1番高橋のサーブから9連続ポイント。このセットから出場した埼玉県13番櫻井の高い打点からのバックアタックもよく決まり、さらにリードを広げる。対する名古屋市も堅実なブロックと粘り強いレシーブでくらくらく。ボールの落ちない見応えのあるラリーが続いたが、最後は埼玉県のキャプテン2番藤田がスパイクを決め、ストレートで埼玉県が勝利を収めた。